

信州大学医学部附属病院 産婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年7月4日

「子宮体癌 IA 期に対する骨盤リンパ節郭清における外鼠径上節温存の効果についての観察研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6540
研究課題名	子宮体癌 IA 期に対する骨盤リンパ節郭清における外鼠径上節温存の効果についての観察研究
所属(診療科等)	産婦人科
研究責任者(職名)	安藤大史(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025年12月31日
研究の意義、目的	子宮体癌 IA 期に対する骨盤リンパ節郭清において、外鼠径上節を温存することにより、予後の悪化なく術後リンパ浮腫リスクを軽減できるかを検討します。子宮体癌症例に対する治療指針の確立に寄与すると考えられます。
対象となる方	2016年1月1日～2024年12月31日までの間に、信州大学医学部附属病院において術前診断が IA 期で組織型が類内膜癌 G1/G2 の子宮体癌に対して、骨盤リンパ節郭清を施行した症例を対象とします。
利用する診療記録	年齢、妊娠歴、閉経の有無、BMI、CA125、既往歴、術前の組織型、腫瘍径、MRI での筋層浸潤の程度、術後進行期、TNM 分類、術後組織型、病理での筋層浸潤の程度、頸部間質浸潤・脈管侵襲・付属器転移の有無、摘出したリンパ節数、外鼠上節リンパ節の温存・リンパ節転移の有無、腹水細胞診結果、術式、手術時間、出血量、術中合併症、イレウス・リンパ浮腫・リンパ嚢胞の有無、術後入院期間、再発の有無、再発部位、再発治療、死亡の有無、死亡原因、無増悪生存期間、全生存期間、術後観察期間
研究方法	術前診断が IA 期で組織型が類内膜癌 G1/G2 の子宮体癌と診断され骨盤リンパ節郭清を施行した症例を、外鼠径上節を温存した群(温存群)と温存しなかった群(非温存群)に分けて、診療録より各種観察項目を収集し、統計学的に比較検討を行います。
共同研究機関名	松本市立病院産婦人科 (責任者: 山田靖)
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 安藤大史(産科婦人科・助教) 電話: 0263-37-2719

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。